

り、先代から豆腐座を勤めて、銀五枚の運上を納れたから、そこに五枚町の名を遺したとも傳へる。寛永三年朝鮮役の際渡來した水天齋といふ者が金澤に來り、七右衛門と稱して豆腐製造を初めた。これは朝鮮の製法によつたものと見える。その頃まだ何人も自由に製することを得なかつたが、寛文六年十一月その禁を解除し、元祿六年三月には請賣業を停止する等のがあつた。

**トウフヤタエモン** 豆腐屋太右衛門 越前屋賢良の筆記に、『陽廣公(前田光高)被召上御膳部用之豆腐は、豆腐屋太右衛門方に而出來指上候分、其風味甚宜敷由御意被成、依而其以後は御料理之節必同人へ被仰付被召上たり。故に正保二年御逝去後、寶圓寺御魂屋御牌前へ御靈供に指上度旨、太右衛門相願御備相成。』とある。

**ドウヘイジンジャ** 道警神社 鳳至郡鶴川にあつたが、今菅原神社に併合せられた。能登名跡志に、『後の高峯を善光寺山といへり。此麓に道幣の宮といふあり。御神体積田彦の命にて中絶ありしを、近年不思議の告度々ありて再興ありし也。』とある。

**トウヘイダ** 藤平田 トヘイダ 石川郡林郷に屬する部落。  
**トウヘイダシン** 藤平田新 トヘイダシン 石川郡林郷に屬する部落。  
**トウベイヤチ** 藤平谷内 トウベ 鹿島郡大田の内の小字。  
**ドウホウウジ** 道法寺 ドウホ 石川郡林郷に屬する部落。鄉村名義抄に、古へこの地に道法寺があつたと記してゐる。道法寺村の名は、天正十一年四月羽柴秀吉の興へた制札にも見

える。

**ドウマンジ** 道満寺 河北郡上田名にあつた曹洞宗の寺院で、塔司小窪庵・西明寺・隨龍寺・長證寺・永照寺を有したが未森戦後佐々成政の爲に焼かれたといふ。  
**ドウミ** 百海 鹿島郡庵の内の小字。  
**トウミゲンナイ** 東美源内 金澤の浪人。深甚流の劍術及び無拍子流の和義を萩原十蔵に學び、それを門人に教へて生涯を送つた。正徳四年歿。

**ドウミヨウ** 同苗 同名とも書く。十村組の内、更に連合を作る五ヶ村の肝煎仲間のことである。文政二年の令に、『諸郡村々之内、肝煎立替之節、近年同苗納得方急々揃不申、彼是及遅々、不得止組合頭等之内に、當分肝煎代り申付向も有之云々。』と見える如きは是である。

**トウミヨウアン** 燈明庵 金澤田丸町に在つて、曹洞宗に屬する。山號は妙光山。初め野々市大乘寺境内に在り、後に大豆田河原に移つたが、明暦三年今の地に轉じたといふ。當寺には前田利家の復像を藏する。これは利家の息女千世姫が藩臣村井長次に嫁した後、請うて賜はつたものだといふ。今は重要美術品に指定せられてゐる。

**ドウミヨウガフチ** 道明淵 江沼郡山中温泉地を流れる山中川の一部で、深淵一碧、鏡のやうである。『これこそは月をあるじや水の千代』  
**トウミヨウジ** 燈明寺 江沼郡山中に在つて、眞宗東派に屬する。  
**トウミヨウジ** 燈明寺 能美郡小松大文字町に在つて、眞宗東派に屬する。初め江沼郡

山中村に居り、寛永十三年今の所に轉じたといふ。

**トウミヨウジ** 東明寺 鳳至郡輪島に在つて、眞宗東派に屬する。  
**トウメ** 當目 鳳至郡中野郷に屬する部落。枝村に極樂寺・蓮花坊・修理田がある。能登名跡志に、『當目村、方々に散村になつて、蓮花坊といふが往來也。千毒といふ川中に、岩井戸といふ不思議の洞あり。海邊より三四里の山奥なれども汐のさしひきあり。鳥賊など吹出せしことあり。昔この洞に猿鬼といふ者住みて人を取る。是を大穴持命退治ありて、其靈を祭つて今猿鬼の宮とあり。案ずるにはは狒々の類なるべし。』とある。

**ドウメキ** 百成 ドウ 鳳至郡本郷に屬する部落。  
**ドウメキオホカクマ** 百成大角間 ドウメキ 鳳至郡七浦庄に屬する部落。枝村に城谷内がある。  
**トウメゴエ** 當目越 鳳至郡西大野から田代・當目に至る道路中、八伏山の西南麓を越える間をいふ。

**ドウモリ** 堂森 能美郡牛首(今白峰)の内の小字。  
**ドウモン** 洞門 ↓ウシヨウドウモン 雲生洞門。  
**ドウモンエカシユウ** 洞門衣箱集 一冊。大乘寺山山の著で、對客隨筆・善薩戒口訣等釋門の事を論辨したもの。正徳元年門人白龍の序がある。

**トウヤ** 稻屋 鳳至郡大屋庄に屬する部落。越登賀三州志來因概覽に、『稻屋は、昔西行能登國いなやつ郡南向の洞中にて、松島の見

佛上人に逢ふと、西行集にいへるもの此所とあり。後人の隨説なるか、眞實は不可考。』といひ、こゝに西行集といふは撰集抄のことである。能登名跡志はその舊跡を珠洲郡布浦であるとしてゐるが、何れにしても信じ得ぬ。

**トウヤ** 當屋 一にお當とも當元ともいふ。神社の祭禮に當つて、交番に特殊任務に當るものゝ謂で、その當番たる者は家柄を以て定まり、資産を以て定まり、年齢を以て定めるもある。この習俗は能登にのみ見る。  
**トウヤザカ** 當夜坂 トヤ 鳳至郡谷内の部落から北河内に越える坂路。その最高地点を四辻峠といふ。高さ四三六米。

**トウユウニチロク** 東遊日録 一冊。豊島殺著。著者は初め京師に遊學して居たが、弘化二年秋江戸に轉することになり、十二日を費して徒歩東行した。本書は漢文で綴つたその時の日記である。千秋健爾之に序と評語とを加へ、後明治十一年門人戸水信義等勸めて刊行せしめた。

**トウヨウ** 桃妖 ↓イツミヤトウヨウ 泉屋桃妖。  
**ドウヨウイン** 桐陽院 大聖寺藩主第七代前田利物の夫人前田氏の法號。詳しくは桐陽院靈鳳宗岡大姊。

**トウヨウヒヨウリユウニツキ** 東洋漂流日記 一冊。弘化三年五月水邊逸民河合馬治著。弘化二年九月錢屋喜太郎の持船に乗組んだ沖船頭次兵衛以下十三人が房州沖に於いて難船し、七ヶ月漂流の後歸著したことを記したものである。  
**トウランアン** 冬蘭庵 金澤焦風俳人の庵號。一抄先づ之を稱へ、甘谷が二代となつた。